

# CASBEE® 戸建-新築

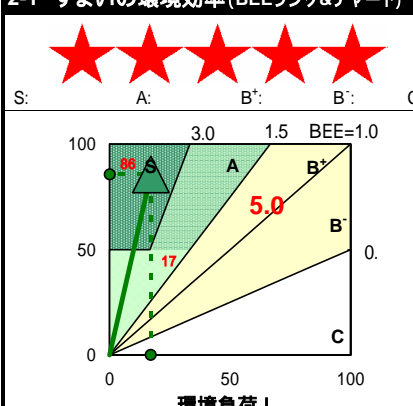
## 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE戸建-新築(2010年版)

使用評価ソフト: CASBEE\_DH-NC\_2010v1.1

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	様邸新築工事		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2011年5月	予定		持ち込み家電等	一部確定
建設地	大阪府 市 町 丁目 番 号			外構の仕様	一部確定
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定	<備考>		
省エネルギー-地域区分			全建連・ちきゅう(地域木造優良)住宅国産材先導モデル2010		
構造・構法	木造・軸組構法	確定	評価の実施日	2011年3月1日	
	2階建て		作成者	中谷昭子	
敷地面積	264 m <sup>2</sup>	確定	確認日	2011年3月1日	
建築面積	67 m <sup>2</sup>	確定	確認者	中谷昭子	
延床面積	125 m <sup>2</sup>				
世帯人数	5	確定			

### 2-1 すまいの環境効率(BEEランク&チャート)

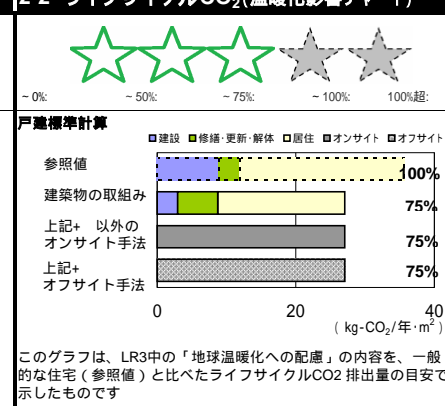


S: A: B+: B-: C:

BEE=1.0

環境負荷 L

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



戸建標準計算

参照値

建築物の取組み

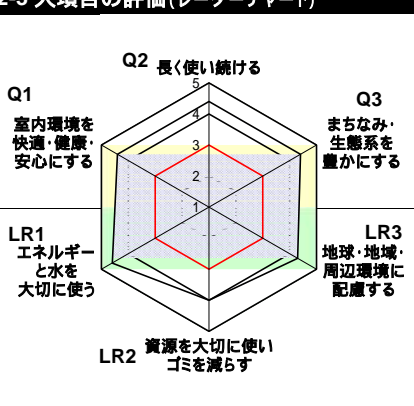
上記+ 以外のオンサイト手法

上記+ オフサイト手法

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

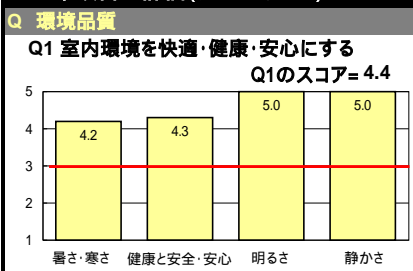
LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 4.4

#### Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

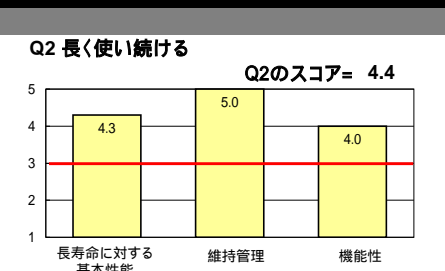
Q1のスコア = 4.4



暑さ・寒さ 健康と安全・安心 明るさ 静かさ

#### Q2 長く使い続ける

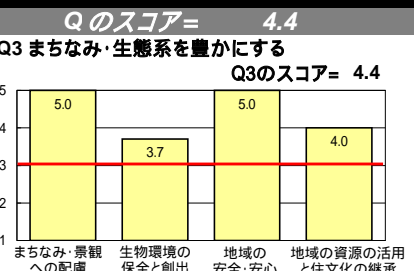
Q2のスコア = 4.4



長寿命に対する基本性能 維持管理 機能性

#### Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

Q3のスコア = 4.4

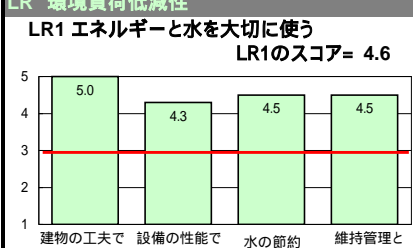


まちなみ・景観への配慮 生物環境の保全と創出 地域の安全・安心 地域の資源の活用と住文化の継承

LR のスコア = 4.3

#### LR1 エネルギーと水を大切に使う

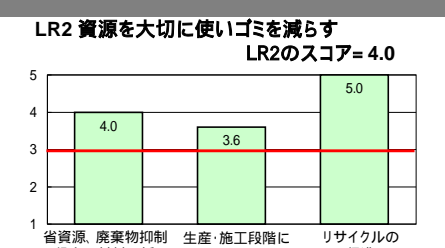
LR1のスコア = 4.6



建物の工夫で省エネ 設備の性能で省エネ 水の節約 維持管理と通用の工夫

#### LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

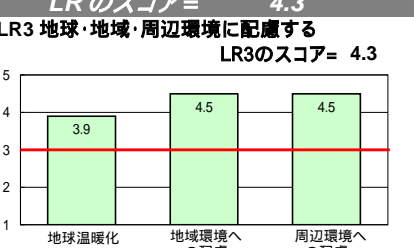
LR2のスコア = 4.0



省資源・廃棄物抑制に役立つ材料の採用 生産・施工段階における廃棄物削減 リサイクルの促進

#### LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア = 4.3



地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮

3 設計上の配慮事項	
総合	長期・ちきゅう(地域木造優良)住宅国産材先導モデル2010に対応している。
その他	
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	全居室2方向通風が確保されており、家全体の通風に期待できる。また、法定対象外又はFの建材を採用し、ホルムアルデヒド対策等級3を満たしている。単純開口率において、25%以上確保している。透過損失等級2を満たしている。
Q2 長く使い続ける	長期優良住宅を取得している為、躯体の耐久性及び維持管理への配慮がなされている。又、床下や小屋裏の全区画について、点検可能となっており、住まい手が適切な維持管理を行うためのサポートに取り組む。耐震等級や耐風等級において最高等級を取得している。
Q3 まちなみ・生態系を豊かにする	地域の景観計画を守り、生物の生息環境を確保し、防災性・防犯性を確保している。また、構造材及び羽柄材に国産材を100%使用している。
LR1 エネルギーと水を大切に使う	熱損失係数が次世代省エネ基準を大きく上回る1.75W/(m <sup>2</sup> ・K)で、高い断熱性能を持つ。プランでは、自然の風が取り入れられるよう全居室2方向通風がなされている。水の節水を積極的にやっている。
LR2 資源を大切に使いゴミを減らす	内装材、外装材において省資源・廃棄物抑制に役立つ材を積極的に採用している。
LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する	既存の自然環境の保全を積極的に行っている。また、隣棟間隔、配置等、周辺環境にも配慮している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (すまいの環境品質), L: Load (すまいの環境負荷), LR: Load Reduction (すまいの環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (すまいの環境効率)  
 CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE戸建-新築の場合、BEE<sub>H</sub>, Q<sub>H</sub>, LR<sub>H</sub>などとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q<sub>12</sub>, LR<sub>11</sub>中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)  
 ライフサイクルCO<sub>2</sub>の算定条件等については、マニュアルおよび「CO<sub>2</sub>計算」シートを参照されたい